

県営都市公園の地域防災計画等における概要

(公園緑地課)

1 趣旨

令和6年8月及び令和7年1月に南海トラフ地震臨時情報が発表された。

地震発生の可能性が引き続き高い静岡県では、危機対策部門が他県における被災時の対応状況なども踏まえて、国や市町と災害対策の見直しなどに取り組んでいる。そのような状況下で、公園所管所属としては、既設7か所の県営都市公園の経年劣化が進む公園施設の修繕整備等に、民間企業等と連携して民間資力や経営手腕などにより施設整備や収入増に取り組む手法がないか検討する予定である。

検討状況は懇話会にも報告をしていくが、施設維持整備等につながる検討であり、現在の静岡県地域防災計画等における県営都市公園の状況も踏まえて取り組む必要があると考え、このたび概要を説明する。

2 県営都市公園の防災関係概要

- (1) 県営都市公園は、令和2年3月末における静岡県危機管理部長と交通基盤部長の覚書により、災害発生時等に危機対策本部等が活動場所に使用する内容を締結しており、その内容に基づき、静岡県地域防災計画にも県営都市公園が活動拠点等として位置付けされています。その他にも、近隣市町や電力会社との協定も締結し、災害時に地元等が使用する予定です。

なお、県営都市公園としては、災害対応の活動拠点として、防災資機材の事前配備はなく、活動組織等が装備して拠点を使用することとなっています。

- (2) 地域防災計画・協定等の状況

公園名	予定活動等
愛鷹広域公園 小笠山総合運動公園	県航空搬送拠点候補地、県ヘリベース 県広域物資輸送拠点 県原子力災害時広域避難中継所 県火山災害時避難一時集結地 (小笠山) 自衛隊活動拠点、中部電力緊急参集所
草薙総合運動場	県広域物資輸送拠点(代替拠点) 県原子力災害時広域避難経由所 県火山災害時避難一時集結地
富士山こどもの国	県原子力災害時広域避難中継所、東京電力緊急参集所
浜名湖ガーデンパーク	県火山災害時避難一時集結地 県原子力災害時広域避難経由所

※地元連携：愛鷹・・・沼津市緊急物資集積所、草薙・・・静岡市広域避難地
小笠山・・・袋井市緊急物資集積場所、遠州灘(球技場)・・・浜松市津波避難

3 今後の状況

- 既存の県営都市公園にかかる公園施設の整備や修繕等は、日常における「公園」利用に支障がないよう、安全を確保し安心して県民等が利用できる環境維持に努めるのはもちろんだが、災害時の支援活動拠点等の使用にも支障がないような公園施設の維持保全が求められる。
- 災害発生時の公園滞在者が、近隣の避難所や各自の避難目的地まで移動が可能になるまでは、帰宅困難者等への対応も指定管理者に想定を求める必要がある。
- 市町設置の都市公園は、防災公園に位置付けて「かまどベンチ」や「マンホールトイレ」など整備している事例もある。県営都市公園でも新規にベンチ整備を行う場合などで対応が可能な場合は、避難拠点ではないが防災対策視点での施設整備も考えていきたい。

参考

南海トラフ地震臨時情報発表フロー図

災害対策マニュアル（令和6年度版）
第1巻配備連絡体制編 p30

観測した異常な現象

- ① 震源域またはその周辺でM6.8以上の地震が発生
- ② 震源域のプレート境界面で異常なゆっくりすべりの可能性

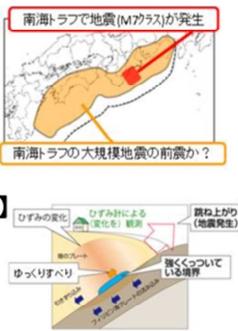
気象庁が「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」発表

異常な現象に対する評価
（最短約30分後）

有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催し、起こった現象を評価

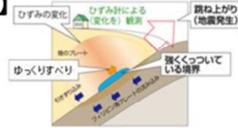
- ・ 県内で震度4以上を観測
- ・ 津波注意報、警報発令

① M7以上8未満の前震可能性地震が発生【一部割れケース】



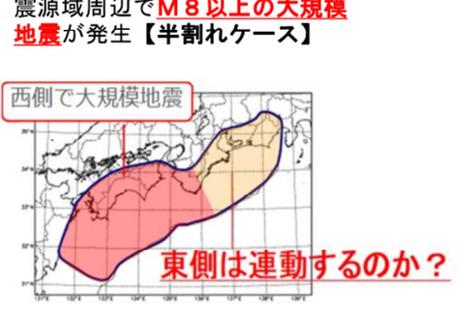
南海トラフで地震(M7クラス)が発生
南海トラフの大規模地震の前震か？

② ゆっくりすべり観測【ゆっくりすべりケース】



ひずみの変化
ひずみによる変化を緩和
遅くかついてくる海洋プレート
遅くかついてくる海洋プレート
遅くかついてくる海洋プレート

震源域周辺でM8以上の大規模地震が発生【半割れケース】



西側で大規模地震
東側は連動するの？

左記以外の場合

評価の結果発表される情報（最短約2時間後）

『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』発表

『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）』発表

『南海トラフ地震臨時情報（調査終了）』発表

【地震】配備
【津波】配備

情報収集体制
（第1次事前配備相当）

警戒体制
（第2次事前配備相当）

災害警戒本部設置
（第3次非常配備相当）

情報収集体制
解除